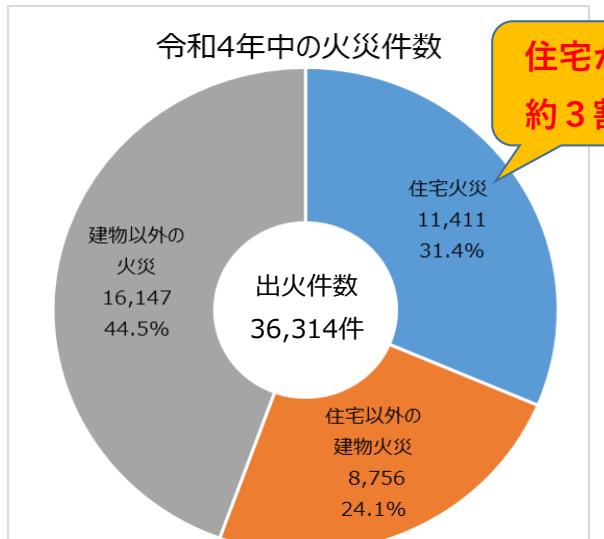


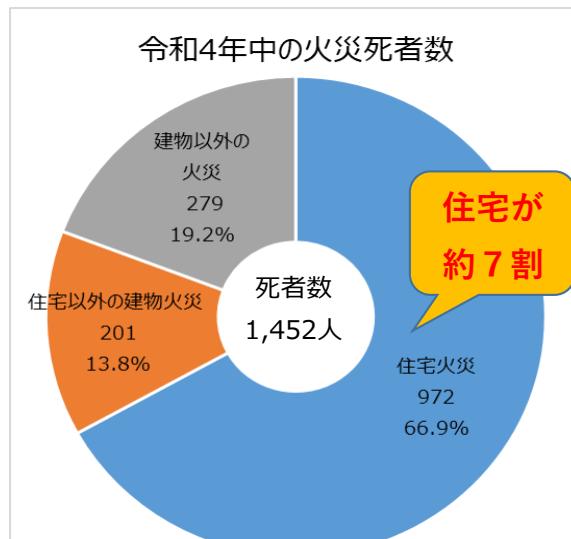
住宅用火災警報器は正しく設置し、点検しましょう

火災の死者の約7割は住宅火災で発生

住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めています。(全国)



※ 放火を含む全ての火災



※ 放火自殺等を含む全ての死者

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置場所（どこに設置するの？）

住宅用火災警報器を設置する場所は寝室で、2階に寝室がある場合は階段室にも設置が必要となります。

設置場所の詳細（部屋のどこに設置するの？）

天井または壁に設置します。詳しい取り付け場所は、取扱説明書を確認するか、消防までお問い合わせください。

住宅用火災警報器の種類

煙を感じて発報する煙感知式と、熱を感じて発報する熱感知式があります。

各寝室や階段に設置する住宅用火災警報器は、煙感知式のものを使用してください。



大切なのち・財産を守るためにも
まだ設置していない方は
住宅用火災警報器を設置しましょう。



住宅用火災警報器
(形状はメーカーにより異なります。)

警報器は定期的に点検しましょう

住宅用火災警報器は、正しく作動するか、定期的に点検しましょう。
春・秋の火災予防運動の時期など、半年に1回点検することをおすすめします。



定期的に作動確認し、
音を聞きましょう!

- ボタンを押す、又はひもを引いて作動確認します。
- 定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

音が鳴らない場合は?

- 電池はきちんとセットされているかご確認ください。
- それとも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですか。電話や説明書によってお問い合わせください。

汚れた時の
お手入れの仕方

- 汚れが付着した場合は、家庭用中性洗剤を混じて十分に絞った布で軽く拭き取ってください。

火災警報器は、最大10年を目安に交換をおすすめします!

我が家の火災警報器の交換時期は…

年 月に交換します。

ご注意ください!

- 火災警報器の種類によって、鳴らす音が異なります。製品に記載している取扱説明書を必ずご覧ください。
- お手入れや作動確認は、高所での作業などは、転落や落下的危険があります。安全に立場を確保して、作業を行ってください。
- 専用の乾燥剤など使用すると、警報が鳴ることがあります。火災警報器をビニール袋で覆うなどしてください。終了後はビニール袋を必ず取りはずしてください。

お問い合わせ先

〒110-0016 東京都台東区台東4-17-1 倍楽ビル（新台東）
電話 03-3831-4318 FAX 03-3831-4365
または警察消防署までお問い合わせください。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせ・ご相談は
フリーライン **0120-565-911**

受付時間：月曜から金曜までの9時～17時(12時～13時を除く)

日本火災警報知機工業会

TEL 03-3831-4318 FAX 03-3831-4365
URL <http://www.kaho.or.jp>

(リーフレットの画像をクリックすると拡大表示します。)